

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和2年10月6日)

- 1 令和2年鳥取県地価調査の結果及び地価動向について
【技術企画課】……1ページ
- 2 鳥取県地方港湾審議会の開催について
【空港港湾課】……2ページ
- 3 淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会「第3回会議」の結果について
【淀江産業廃棄物処理施設計画審査室】……3ページ
- 4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路企画課・道路建設課・河川課】……6ページ

県土整備部

令和2年鳥取県地価調査の結果及び地価動向について

令和2年10月6日
技術企画課

令和2年7月1日を価格判定の基準日とする令和2年鳥取県地価調査の結果及び地価動向について報告します。

1 地価調査の結果及び地価動向

- 県内の住宅地・商業地・全用途において、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年より下落幅が拡大した。
- 工業地においても、昨年まで2年連続上昇していたが、下落に転じた。
- 価格の上昇した地点が、H27以来5年ぶりに0地点となった。（0地点は全国で鳥取県のみ）
H27: 0地点 ⇒ H28: 7地点 ⇒ H29: 9地点 ⇒ H30: 15地点 ⇒ R1: 24地点 ⇒ R2: 0地点
- 全国の全用途も、3年ぶりに下落となった。（0.4% ⇒ △0.6%）

第1表 10年間の対前年変動率の推移（鳥取県）（単位：％）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	備考
住宅地	△4.7	△4.8	△4.4	△3.4	△2.7	△2.0	△1.7	△1.2	△1.0	△1.3	21年連続下落
商業地	△6.8	△6.1	△4.9	△3.8	△2.9	△2.0	△1.4	△0.9	△0.8	△1.7	29年連続下落
工業地	△5.9	△5.9	△6.4	△4.3	△2.9	△1.3	△0.6	0.4	0.8	△0.6	3年ぶり下落
全用途	△5.0	△5.1	△4.6	△3.5	△2.7	△2.0	△1.6	△1.1	△0.9	△1.4	22年連続下落
全国(全用途)	△3.4	△2.7	△1.9	△1.2	△0.9	△0.6	△0.3	0.1	0.4	△0.6	3年ぶり下落

第2表 地域別・用途別の対前年変動率（単位：％）

対前年変動率	住宅地		商業地		工業地		全用途		備考
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	
鳥取県	△1.0	△1.3	△0.8	△1.7	0.8	△0.6	△0.9	△1.4	
全国	△0.1	△0.7	1.7	△0.3	1.0	0.2	0.4	△0.6	
鳥取市	△1.3	△1.5	△1.3	△2.1	△0.9	△1.3	△1.3	△1.6	
米子市	0.5	△0.4	0.3	△1.6	1.5	△0.6	0.6	△0.8	
倉吉市	△0.5	△1.3	△0.7	△1.2	0.0	0.0	△0.6	△1.2	
境港市	△1.4	△2.2	△1.0	△2.1	3.4	0.0	△0.5	△1.8	
町村部	△1.4	△1.5	△1.5	△1.5			△1.4	△1.5	

第3表 価格の上昇・横ばい・下落した地点数

用途	令和元年				令和2年			
	上昇	横ばい	下落	計	上昇	横ばい	下落	計
住宅地	17	21	91	129	0	27	102	129
商業地	3	12	20	35	0	3	32	35
工業地	3	2	1	6	0	3	3	6
宅地見込み地	1	0	1	2	0	1	1	2
計	24	35	113	172	0	34	138	172

第4表 最高価格地

用途	所在地	標準価格(円/㎡)		対前年変動率(%)	備考
		R1	R2		
住	鳥取市西町3丁目	84,000	84,000	0.0	8年連続最高価格。中心市街地の閑静な住宅地域。
商	鳥取市栄町	120,000	117,000	△2.5	25年連続最高価格。駅前の商業地。

2 地価調査の目的

地価調査は、国土利用計画法施行令第9条の規定に基づき、都道府県が毎年1回県内全域の基準地の価格を調査し、その結果を公表するものである。これは、国の行う地価公示（価格判定の基準日は毎年1月1日）とあわせて一般の土地の取引価格の指標ともなるものである。

第5表 用途別の基準値数

区分	住宅地	宅地見込み地	商業地	工業地	宅地計	林地	合計
基準地数	129	2	35	6	172	6	178

鳥取県地方港湾審議会の開催について

令和2年10月6日
空 港 港 湾 課

重要港湾 鳥取港において、航路埋塞等に対する抜本的対策及び海上輸送の効率化等による機能強化を盛り込んだ港湾計画の改訂（案）等を審議するため、鳥取県地方港湾審議会を開催します。

- 1 日 時：令和2年10月19日（月） 午前10時30分から
- 2 場 所：鳥取県庁議会棟3階特別会議室
- 3 委 員

区 分	氏 名	所 属
学識経験者	会 長 梶見 吉晴（まつみ よしはる）	鳥取大学 学長顧問
	馬場 芳（ばんば かおり）	鳥取大学地域学部地域政策学科 准教授
港湾関係者	深田 幸孝（ふかだ ゆきたか）	日本通運(株)山陰支店 部長
	広坂 寿子（ひろさか としこ）	鳥取港小型船婦人部
	羽場 恭一（はば きょういち）	鳥取市 副市長
	副会長 石畑 美幸（こくはた みゆき）	鳥取商工会議所青年部 直前会長
	岸 睦（きし むつみ）	鳥取市賀露地区公民館
関係行政機関の職員	小平 卓（こだいら たく）	国土交通省中国地方整備局 局長
	橋本 実千寿（はしもと みちひさ）	国土交通省中国運輸局鳥取運輸支局 次長
	小野寺 正則（おのでら まさのり）	第八管区海上保安部境海上保安部 部長

4 審議事項

- (1) 重要港湾 鳥取港の港湾計画改訂（案）について
- (2) 地方港湾 赤碕港の臨港地区指定（案）について

5 重要港湾 鳥取港の港湾計画改訂（案）の概要



淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会「第3回会議」の結果について

令和2年10月6日

淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会「第3回会議」を開催したので、結果について報告します。

- 1 日時 令和2年9月22日（火・祝） 午後1時～午後3時20分
- 2 場所 さなめホール（米子市淀江町文化センター：米子市淀江町西原） イベントホール
- 3 委員 しまだじゅん 嶋田 純 熊本大学名誉教授【会長】、すぎたふみ 杉田 文 千葉商科大学教授、いとうひろこ 伊藤浩子 一般財団法人地域地盤環境研究所主任研究員、かつみたけし 勝見 武 京都大学大学院教授、こだまよしのり 小玉 芳 敬 鳥取大学教授

4 結果

(1) パイロットボーリング調査の主な結果

- ア 計画地周辺に概ね3つの帯水層（上部から帯水層Ⅰ、帯水層Ⅱ、帯水層Ⅲ）が存在。
- イ 帯水層Ⅱと帯水層Ⅲの境界には、固結度が高い難透水層が存在。
- ウ 帯水層Ⅲの下位にも比較的固結度が高い地層（難透水層）が存在。

(2) 本調査計画に対する主な意見

以下の意見をいただき、対応を検討中。

- ・帯水層Ⅰの水位は地下水の流れに大きく影響するため、観測井戸用のボーリング数（3地点）を増やすべきではないか。
- ・観測井戸用のボーリングは、帯水層の途中で止めるのではなく、帯水層全体の地下水が把握できる深さまで掘り進めるべきではないか。
- ・客観的に地層の連続性を確認するため、ボーリングコアの目視観察だけでなく、地質分析を追加してはどうか。
- ・水質調査の精度を確保するため、調査項目を追加してはどうか。

(3) コア確認及び現地確認

当日午前、パイロット調査のボーリングコア及び調査地点の確認を行った。

(4) 傍聴

新型コロナ対策として、別室でモニターによる傍聴を実施。傍聴者は37名（西部：さなめホール大ホール28名、東部：県庁講堂9名）。



コア確認の様子

5 今後の予定

令和2年10月 本調査ボーリング

11月 地下水位連続観測開始（1年間）、水質一斉観測（低水期に1回）

令和3年1月頃 第4回会議（本調査ボーリング結果の整理、シミュレーションモデルの構築検討等）

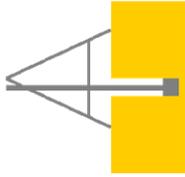
1.7 調査結果を踏まえた本調査ボーリング計画

(2)地質構造予察断面図(A'-C断面)

地質調査

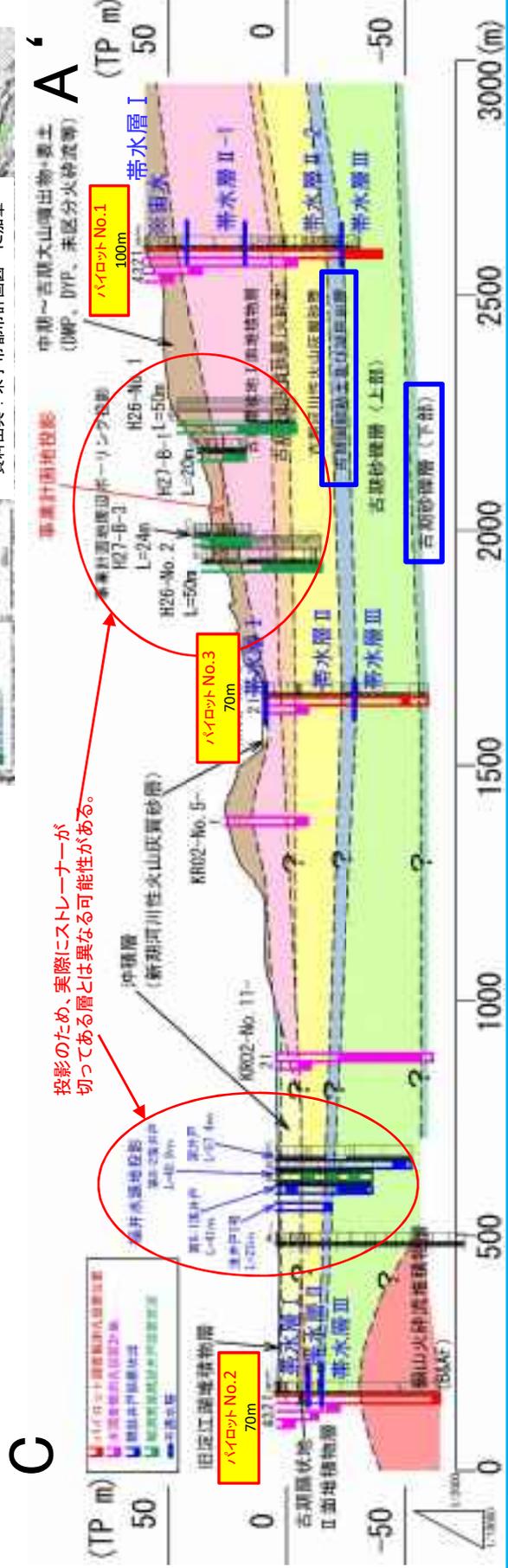
- ・ボーリング調査(計11地点)で、地質の状況や帯水層の構造などを把握します。
- ・過去のボーリングデータも活用し、地域一帯の地質の状況などを把握します。

【期間】R2年7月頃～10月頃



資料出典：米子市都市計画図(に加筆)

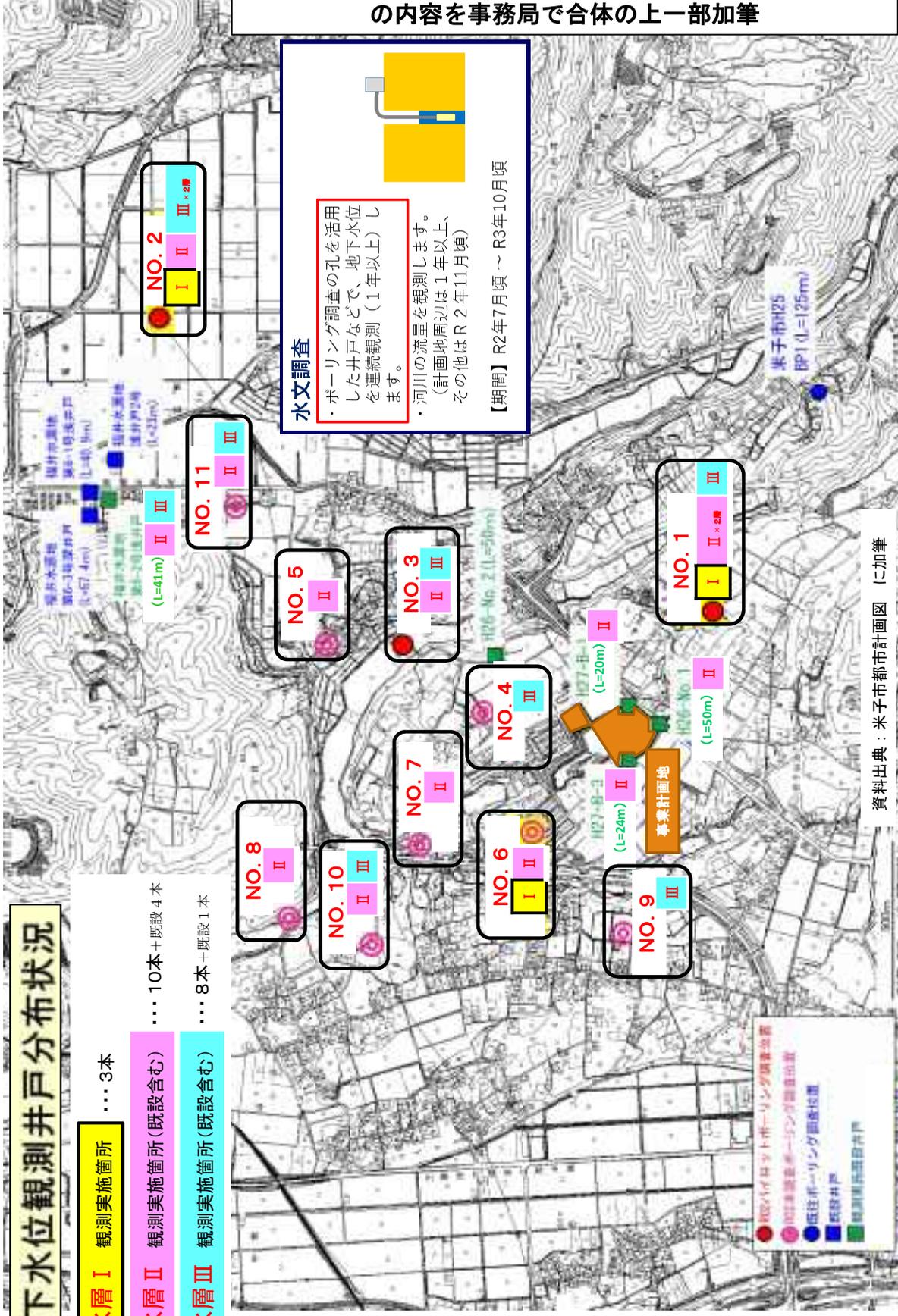
第3回地下水等調査会資料〔抜粋〕に一部加筆



1.7 調査結果を踏まえた本調査ボーリング計画

地下水位観測井戸分布状況

- 帯水層 I** 観測実施箇所 …… 3本
- 帯水層 II** 観測実施箇所(既設含む) …… 10本+既設 4本
- 帯水層 III** 観測実施箇所(既設含む) …… 8本+既設 1本



第3回地下水等調査会資料 p36～38（観測井戸分布状況）の内容を事務局で合体の上一部加筆

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工 事 場 所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	入 札 方 式
道路建設課	国道178号(岩美道路)橋梁上部工事(笹原橋)(補助)	岩美郡 岩美町 陸上	株式会社IHインフラシステム 中国営業所 所長 安道 昌弘	425,810,000円 (予定価格) 470,297,300円	令和2年9月2日 ～ 令和4年2月21日	令和2年9月2日	制限付 一般競争入札 (4社)
道路建設課 (鳥取県土 整備事務所)	国道178号(岩美道路)改良工事(3工区)(補助)	岩美郡 岩美町 牧谷	八幡コーポレーション株式会社 代表取締役 玉木 裕一	183,480,000円 (予定価格) 199,338,700円	令和2年9月29日 ～ 令和3年3月15日	令和2年9月29日	制限付 一般競争入札 (11社)
道路建設課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	街路両三柳中央線改良工事(3工区)(防災安全交付金)	米子市 両三柳	イワタ建設株式会社 代表取締役 岩田 義美	154,000,000円 (予定価格) 167,043,800円	令和2年9月29日 ～ 令和3年3月15日	令和2年9月28日	制限付 一般競争入札 (4社)
河川課 (鳥取県土 整備事務所)	湖山池整備工事(覆砂工)	鳥取市 湖山町 南外	東洋建設株式会社山陰営業所 所長 吉田 涼	149,600,000円 (予定価格) 160,717,700円	令和2年9月29日 ～ 令和3年3月26日	令和2年9月29日	制限付 一般競争入札 (3社)
河川課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	水貫川河川改修工事(1工区)(補助)	米子市 皆生新田	株式会社所子建設 代表取締役 中川 郁夫	121,220,000円 (予定価格) 131,448,900円	令和2年9月23日 ～ 令和3年3月15日	令和2年9月18日	制限付 一般競争入札 (4社)
河川課 (西部総合事務所 日野県土整備局)	日野川霞地区河川改修工事(井津羽堰下部工)	日野郡 日南町 丸山	サワタ建設株式会社 代表取締役 澤田 信介	122,980,000円 (予定価格) 130,797,700円	令和2年9月17日 ～ 令和3年3月26日	令和2年9月17日	制限付 一般競争入札 (2社)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

主 務 課		工 事 名	工 事 場 所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
道路企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	県道卯垣正蓮寺線(新今在家橋)耐震補強工事 (交付金橋補修)	鳥取市 東今在家	株式会社懸樋工務店 代表取締役 懸樋 義樹	(当初契約額) 100,100,000円	令和元年10月10日 ~ 令和2年3月25日	(当初契約年月日) 令和元年10月10日	-	
				(変更後契約額) 145,890,800円 (変更額) 〔 45,790,800円 〕	(変更後工期) 令和2年6月10日	(第1回変更契約年月日) 令和2年3月19日	仮設工で使用する鋼矢板について自然災害多発等によりインフラ需要により納入が遅れたことによる工期延伸	
				(第2回変更後契約額) 145,890,800円 (変更額) 〔 45,790,800円 〕	(変更後工期) 令和3年2月26日	(第2回変更契約年月日) 令和2年5月26日	・橋脚巻立て工実施のため、鋼矢板により締め切ることとしていたが、施工箇所中に想定外の転石が多く存在し、圧入が困難になったため、補助工法(先行岩盤掘削)を追加したことによる工事費の増 ・上記追加施工の検討、調整に不測の日数を要したことによる工期延伸	
(第3回変更後契約額) 153,521,500円 (変更額) 〔 7,630,700円 〕				(第3回変更契約年月日) 令和2年9月30日	工期延伸に伴い出水期を跨いだ施工となるため、吊り足場等の仮設費が増えたことによる工事費の増			

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

主務課		工事名	工事場所	契約の相手方		契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課 〔八頭県土整備事務所〕	八頭郡 智頭町 芦津	県道津山智頭八東線(芦津工区)落合橋下部工事 (交付金改良)	株式会社竹内組 代表取締役 竹内 秀彦	(当初契約額) 141,570,000円	令和元年9月17日 ～ 令和2年3月19日	(当初契約年月日) 令和元年9月17日	-	・現地精査の結果による 工事費の増 ・電気事業者による電柱 移転に不測の日数を要し たことによる工期延伸	
				(第1回変更後契約額) 141,608,500円 (変更額) 38,500円	(変更後工期) 令和2年7月31日	(第1回変更契約年月日) 令和2年3月9日			
				(第2回変更後契約額) 145,904,000円 (変更額) 4,295,500円	(変更後工期) 令和2年9月30日	(第2回変更契約年月日) 令和2年7月30日			
(第3回変更後契約額) 146,895,100円 (変更額) 991,100円		(第3回変更契約年月日) 令和2年9月16日	・熱中症対策に当たり、 真夏日日数に応じた経 費の補正等を行ったこと 及び現道との擦り付けに おいて舗装工が増となっ たことによる工事費の増						

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課 八頭県土 整備事務所	県道岩美八東線(落岩工 区)改良工事(2工区)(交 付金改良)	八頭郡 八頭町 落岩	こおげ建設株式会社 代表取締役 山根 敏樹	(当初契約額) 141,130,000円	令和元年9月26日 ～ 令和2年3月19日	(当初契約年月日) 令和元年9月26日	—
					(変更後工期) 令和2年9月30日	(第1回変更契約年月日) 令和2年3月18日	大型ブロック工において、 大型ブロックの確保 に不測の日数を要したこ とによる工期延伸
				(第2回変更後契約額) 136,393,400円 (変更額) 〔 △4,736,600円 〕	(変更後工期) 令和2年10月9日	(第2回変更契約年月日) 令和2年9月30日	・路体盛土において、購 入土を使用することとし ていたが、他工事からの 流用土を活用したことに よる工事費の減 ・上記の調整に期間を要 したことによる工期延伸

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工 事 場 所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
道路建設課 (中部総合事務所) (県土整備局)	国道313号(倉吉道路) 改良工事(天神野～黒見 地区)(5工区)(補助改 良)	倉吉市 天神野 ～ 黒見	株式会社井中組 代表取締役 井中 紳二	(当初契約額) 141,350,000円	令和元年9月13日 ～ 令和2年3月13日	(当初契約年月日) 令和元年9月13日	-
				(変更後工期) 令和2年5月25日	(第1回変更契約年月日) 令和2年3月11日	ブロック張工において、コンクリートブロックの確保に不測の日数を要したことによる工期延伸	
				(第2回変更後契約額) 140,567,900円 (変更額) (△782,100円)	(変更後工期) 令和2年8月31日	(第2回変更契約年月日) 令和2年5月21日	・建設発生土の受入工事現場と搬出現場との調整及び搬出ルートの地元調整に期間を要したことによる工期延伸 ・建設発生土の搬出量調整による工事費の減
				(第4回変更後契約額) 140,694,400円 (変更額) (126,500円)	(変更後工期) 令和2年9月30日	(第3回変更契約年月日) 令和2年8月25日	周辺耕作地の水稲栽培に伴う水あてにより、切土面から湧水が発生し、その処理に時間を要したことによる工期延伸
(第4回変更後契約額) 140,694,400円 (変更額) (126,500円)						(第4回変更契約年月日) 令和2年9月24日	現地精査の結果、舗装面積が増えたことによる工事費の増

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部									
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由		
河川課 鳥取県土 整備事務所	野坂川河川改修工事	鳥取市 安長	株式会社原田建設 代表取締役 原田 實	(当初契約額) 109,120,000円	令和元年9月25日 ～ 令和2年3月16日	(当初契約年月日) 令和元年9月25日	-		
					(変更後工期) 令和2年9月28日	(第1回変更契約年月日) 令和2年3月16日		仮設工に用いる矢板の鋼材調達と、矢板施工箇所、旧橋基礎工が確認されたため、矢板圧入方法の変更検討及び施工に不測の日数を要したことによる工期延伸	
				(第2回変更後契約額) 109,992,300円 (変更額) 872,300円		(第2回変更契約年月日) 令和2年9月28日		現地精査の結果、地盤が想定よりも軟弱であったため、護岸ブロック施工基面の土砂流出防止として、割栗石による置換を実施したことによる工事費の増	

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部									
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由		
河川課 鳥取県土 整備事務所	岩美海岸(浦富地区)人 工リーフ整備工事(国補 正)	岩美郡 岩美町 浦富	やまこう建設株式会社 代表取締役社長 岡田 幸一 郎	(当初契約額) 148,500,000円	令和2年3月27日 ～ 令和2年11月25日	(当初契約年月日) 令和2年3月27日	—		
				(第1回変更後契約額) 164,124,400円 (変更額) (15,624,400円)		(第1回変更契約年月日) 令和2年7月28日		起工測量の結果、海底 地盤が当初想定と比べ て深くなっており、基礎捨 石、被覆石等の施工数 量を増加したことによる 工事費の増	
				(第2回変更後契約額) 167,684,000円 (変更額) (3,559,600円)		(第2回変更契約年月日) 令和2年9月29日		週休2日モデル工事の適 用により、休日の取得実 績に応じた経費の補正を したことによる工事費の 増	